

動物園の30年

すごろくで振り返る

ありがとう、そしてこれからも

動物園は、今年開園30周年を迎えます。緑に囲まれた約4.7ヘクタールの広い園内にはレッサーパンダやオランウータン、「なかよし広場」のモルモットなど56種の動物があり、毎年約25万人もの来園者に親しまれています。今号では、楽しい「すごろく」遊びで、市内の人気スポットである動物園の30年の歩みを紹介します。

動物園 30年 動物園



1987年 スタート 動物園が開園

本市の友好都市である中国四川省樂山市からレッサーパンダが寄贈されたのをきっかけとして、市民待望の動物園が大町地区に開園しました。レッサーパンダの来園に備えました。

動物園は、今年開園30周年を迎えます。緑に囲まれた約4.7ヘクタールの広い園内にはレッサーパンダやオランウータン、「なかよし広場」のモルモットなど56種の動物があり、毎年約25万人もの来園者に親しまれています。今号では、楽しい「すごろく」遊びで、市内の人気スポットである動物園の30年の歩みを紹介します。

遊び方 誰が最初にゴールするか

- さいころを振り、出た目の数だけコマを進める。
- 止まったマスに指示赤字があれば、その指示に従う。

動物大使としてやって来た真真(オス/写真右)と誠誠(メス/写真左)

1989年 レッサーパンダの赤ちゃんが誕生

樂山市からやってきた真真、誠誠に待望の赤ちゃんが誕生。双子の姉妹(鈴鈴・愛愛)はすくすくと成長し、数年後にはどちらも母親になりました。

赤ちゃんが生まれ、飼育員一同ホッとする→1つ進む

2013年 「流しかわウン」が大ブームに

「来園者もカワウンも楽しめるものを」と、2012年に新設したカワウン舎のオリジナル遊具。実は細い水路などを動き回るコツメカワウンの特性にヒントを得て、飼育員が考案しました。翌年作った握手コーナーも人気です。

来園者が急増した→3つ進む

2009年 レッサーパンダのイチ丸が誕生

イチ丸は市川市で生まれ育った親同士から誕生した、生粋の市川っ子。ずんぐりむっくり、短い足で懸命にヨチヨチ歩く姿が、とてもかわいく印象的でした。

イチ丸と一緒にヨチヨチ歩く→1回休み

1992年 インドネシアからオランウータンが来園

姉妹都市のインドネシア・メダナ市から、4歳半になる2頭のオランウータン、イーバン(オス)とスミー(メス)が来園。明るくて元気なスミーと小さくて甘えん坊なイーバン。かわいくて貴重な動物大使でした。

来園早々、イーバンとスミーがケンカをする→1回休み

2014年 市川梨丸が動物園のキャラクターになる

動物園生まれのレッサーパンダ市川梨丸。市内を走るコミュニティバス北東部ルート(梨丸号)にもなるなど、みんなの人気者です。

梨丸と一緒にゴールに向けて走る→1つ進む

2008年 ニホンザルのオトメがヌイグルミを持って群れの仲間になる

生後間もなくサル山で置き去りにされたオトメ。ヌイグルミをお母さん代わりに抱き、飼育員に育てられました。リーダー・ゴロンの助けもあり、無事に群れに仲間入り。現在は2頭のお母さんとして育児奮闘中です。

ゴロンの動きに感動する→1つ進む

1997年 エリマキキツネザルのベギーに5つ子が誕生

開園当時から仲間、ベギーから生まれた子どもは30頭以上にのぼります。中でも1997年には国内でも珍しい5つ子を出産。みんな立派に育てられました。

ベギーがキツネに間違えられる→2つ戻る

2017年 ゴール 開園30周年

今年は、1年を通じて30周年を記念した楽しいイベントを企画しています。まずは、1月3日(火)から2016年7月に生まれたレッサーパンダの赤ちゃんを一般公開(午後1時~2時のみ)します。会いに来てください。

1月3日頃から一般公開(午後1時~2時のみ)

施設案内 場 大町284番1外 間 ☎338-1960動物園

開園時間 午前9時30分~午後4時30分(入園は午後4時まで)

休園日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年始は1月3日(火)から開園

入園料 大人430円、小・中学生100円、小学生未満無料

年間パスポート 大人1,240円、小・中学生310円

来園者インタビュー

氷野 裕士さん

生まれも育ちも市川市の私は、子どもの頃、当時珍しかったレッサーパンダが好きで遊びに来ていました。今は結婚し子どもも生まれ、親子で「流しかわウン」のファンです。

来園者インタビュー

藤原 康史さん

近所に住んでいるので、天気が良い時にお弁当を持って気軽に来れるところがいいですね。息子はレッサーパンダのライチが好きなので、ここに来るとまずライチに会いに来ます。ミニ鉄道も欠かせません。

5つ戻る

タヌキ シロフクロ

2つ進む

エミュー ミニアキヤット

とにかく好奇心旺盛。人気急上昇中

2つ戻る

オシドリ ショウジョウトキ

冬の間だけオスに飾り羽が生え華やかな姿に

2つ戻る

オランウータンのウータンが誕生

来園から実に11年目、オランウータンに待望の第1子が誕生。母のスミーは最初、育て方がよく分からず不安な様子でしたが、授乳をきっかけに育児が軌道に乗り、その後大切に育てました。

2016年にウータンが豊橋市に引越。さみしくて→2つ戻る

1999年 シュバシコウのクウちゃんに初めてのひなが誕生

1987年に網に激突し、くちばしを折ってしまったクウちゃん(写真右)。動物病院での5年にわたる治療と介護の末、無事にフライングケージに復帰。その7年後には2世も誕生しました。お世話をしてきた獣医は感慨もひとしおです。

今日も元気にみなさんを迎えて→2つ進む

1997年 エリマキキツネザルのベギーに5つ子が誕生

開園当時から仲間、ベギーから生まれた子どもは30頭以上にのぼります。中でも1997年には国内でも珍しい5つ子を出産。みんな立派に育てられました。

ベギーがキツネに間違えられる→2つ戻る

1つ戻る

アメリカガメ

なんと3万本

針の数はなんと3万本

ミニア

1つ戻る

フエネツツ

人懐っこくおとなしい性格。抱っこして来てね